

# 絶こうちょうの丹波篠山市を!

～地域の声を施策に反映し、魅力（「都会に近い田舎」・自然・人情・特産物・伝統文化）いっぱいながら、少子高齢化・人口減の篠山を元気に～

ささやま冒険教育代表（元篠山東雲高校校長） 丹後 政俊



## 1 郷土愛あふれる子どもの育成

- ・地元進学、地元就職の減少←地元と触れ合う機会「ふるさと教育」の充実  
→地元へ戻る人口の増加
  - ・変化の激しい未来を「生きる力」の育成←主体的な学び、体験学習の充実  
思う存分遊べる場所の確保
- ※学校、保護者、地域で子育て（住民の特技を活かした運動/文化/学習支援等）  
人の役に立つ（地域貢献）→子どもも学校も喜ぶ→自分の生きがいも UP

## 2 地域の実情に合った農業の振興

- ・農業担い手の不足←大規模農家、集落営農、新規就農者、兼業農家の支援充実  
（6千H7→4千H27）←農業の魅力発信、特産物の拡大、自然農法等の魅力発信

※農業・特産品・農村文化（祭り等）が持続可能な仕組みづくり

## 3 少子高齢化・人口減の流れを打破（人口流失を止め持続可能なまちづくり）

- ・市内人口の減少（5.7万→4.0万）←空き家バンク、地元企業の魅力発信  
←起業する若者やまちづくりに取り組む者等への支援  
←UターンIターン者の移住定住促進、交流人口の増加
- ・丹波篠山の魅力拡大と発信、シェアオフィス、ワンストップで親身な対応等
- ・子育てしやすいまちづくり（幼保一本化、病児保育、医療費・教育費の支援等）

※水道料金の高さ、車がないと生活できない生活、田舎の近所付き合い等が課題

## 4 地域の特徴を生かしたまちづくりの推進

- ・まちづくり協議会や自治会役員担い手不足←先進事例紹介、悩み交流、連絡協議会を組織  
←まち協事務員費の充実、市職員サポートと住民自治の連携

※地域文化の継承人不足、防災対策、高齢者の暮らしサポート（買い物・移動支援）等の課題解決仕組みづくり（有償運送サービス、地域おこし協力隊の起業等）

☆ 冒険の心（チャレンジと協力）と創造力でピンチをチャンスに